

事務事業 No./名称	■サービス部門 こども-14 公立保育所管理運営事業				ザイムスコード及び個別事業名			
	主管課	保育課	関連課	こどもみらい課	75	公立保育所運営事業		
分野名	健康福祉				76	公立保育所運営事業		
目標 (目標値)	地域の子育て支援を行なう 待機児童0人				77	公立保育所管理事業		
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考 ・各年4月1日(住民基本台帳) ・対象者数=各年3月1日現在 公立入所児童数				
	人口	176,669人	176,484人					
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源 状況	決算値	357,457千円	38,492千円					
	(国・県)	5,513千円	2,097千円	指標と評価				
	(負担金等)	156,712千円	149,916千円	指標	待機児童数(各年度3月1日現在・公立保育園分)			
	(一般財源)	195,232千円	186,479千円	評価	○			
	人員配置数	103.4人	109.4人	◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退				
	人件費	927,304千円	992,371千円		目標値	実績値		
	協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費	1,284,761千円	1,330,863千円	20年度	10	52		
	市民1人当りの経費	7,272円	7,541円	21年度	10	67		
	対象者1人当りの経費	1,752,744円	1,830,623円	22年度	5			
ベンチマーク (県内外自治体や民間 団体との比較値)	団体名			23年度				
				最終年度 (27年度)	0			
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 待機児童解消を目指しているが、むしろ増加傾向にある。 私立保育所運営と比較し、対象者1人あたりの運営経費が公立保育所の方が高く、より一層の効率的運用を図り改善させること等課題が残っている。						
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 待機児童対策として定員を超えた弾力的な運用による受入れ。 保育所最低基準を遵守しつつ保育スタッフの弾力的配置等により、公立保育所定員合計650人のところ、3月1日現在で733人の入所者があった。 また、腰越保育園で給食調理業務の民間委託を22年度から実施するための準備を行うとともに、寺分保育園の民営化に向け、保護者との話し合いを進めている。						
	未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 私立保育所運営と比較し、対象者1人あたりの運営経費が公立保育所の方が高く、より一層の効率的運用を図り改善させること等課題が残っている。寺分保育園の民営化については、保護者との話し合いを進めているが、当初の予定より1年遅れている。						
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 寺分保育園の民営化については、23年4月から引継ぎ保育に着手するとともに、公立保育所民営化の3園目を推進し、多様化する保育ニーズに対応する。今井邸、鈴木邸を活用した保育所整備計画のあり方について、関係課と連携しながら検討していく。						
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性			評価結果	改善の必要性	今後も拠点園5園以外の民営化を積極的に進める。拠点園における各種保育業務においても、「民間でできることは民間に任せる」という視点にたち、給食調理業務委託を始めとした業務の効率化を図る。一方では、推進すべき保育業務については充実を図っていく。		
A	有	公立保育所全般については、2、3園目の民営化のほか、給食調理業務委託などを行い効率化を図るとともに、待機児対策のための施策をさらに進める。		A	有			
課長名		保育課長 進藤 勝		部名・部長名		こどもみらい部 佐藤 尚之		